ボーリング柱状図

調　査　名　平成２６年度　公営住宅　六高住宅新築工事地質調査委託

事業・工事名

ボーリングNo	

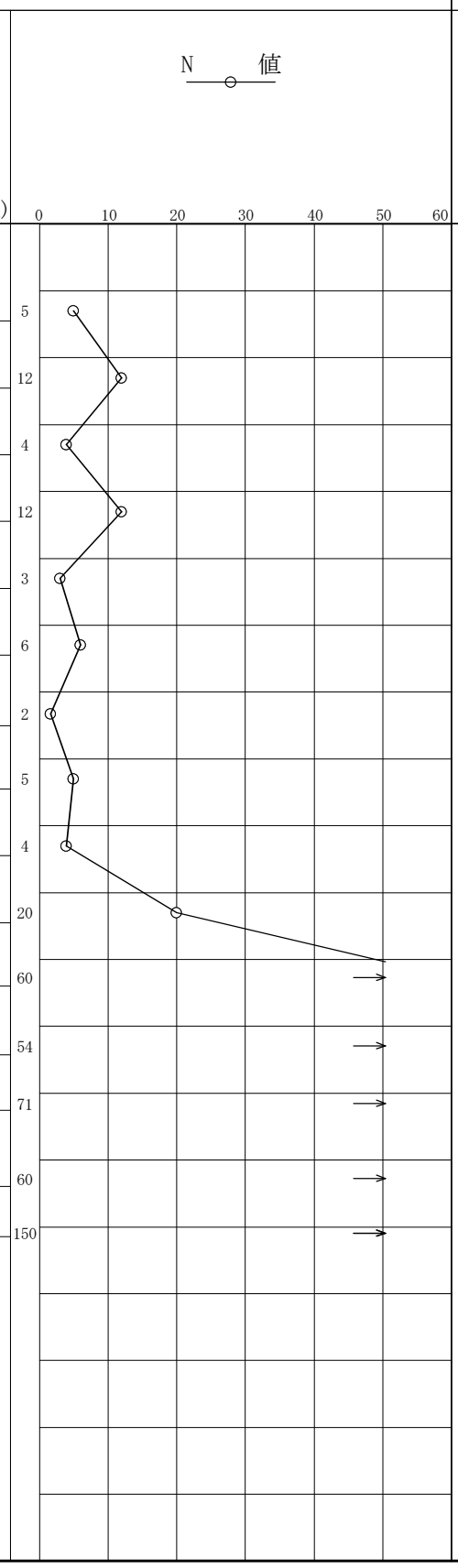
シートNo

ボーリング名	Ｎｏ．２	調査位置	福岡市博多区吉塚七丁目			北緯	
発注機関	福岡市　住宅都市局　住宅部　住宅建設課			調査期間	平成 26年 8月 25日 ～ 26年 8月 27日	東経	
調査業者名	朝倉地質工業株式会社 電話（092-474-6543）	主任技師	時川　真一	現場代理人	高野　宏二	コア鑑定者	高野　宏二	ボーリング責任者	高野　和貴
孔口標高	+0.51m	角度	180°上 90° 下0°	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90°	使用機種	試錐機：東邦Ｄｏ－Ｄ　ハンマー落下用具：コーンプーリー
総掘進長	15.00m								エンジン：ヤンマーＮＦＤ－１０　ポンプ：東邦ＢＧ－３Ｃ」

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
1	-0.69	1.20	1.20		埋土	黄灰			0.20mまでアスファルト及び砕石。以下、粘土混じり砂。φ２～60mm大の礫を混入する。	
	-1.09	0.40	1.60		シルト混じり砂	暗灰			細粒砂主体。レンガ片を介在。	
2					礫混じり砂	淡黄灰			細粒砂を主体とする。φ10mm以下の細礫若干混入。GL-2.40mに自然水位存在。自然水位以深、含水量多く孔壁の崩壊見られる。	8/25 2.40
3	-2.79	1.70	3.30							
	-3.29	0.50	3.80		砂	暗灰			細粒砂を主体とする。	
4					シルト混じり砂	暗灰			φ２～10mm大の礫を混入する。細粒砂を主体とする。部分的に粘性土及び貝殻片を混入する。	
5										
6										
7										
8										
9	-9.29	6.00	9.80							
10					礫混じり砂	暗灰～灰			細～中粒砂を主体。φ２～10mm大の礫を混入する。含水量多く孔壁の崩壊見られる。	
11	-10.49	1.20	11.00							
	-11.19	0.70	11.70		砂礫	暗黄灰			部分的に礫岩を介在する。粘着力強く水圧がかかる。	
12					砂質頁岩	暗灰			弱風化帯を呈するが、N＞50を示す支持地盤。φ10mm以下の風化残痕礫（石英）を混入する。	
13	-13.29	2.10	13.80							
14					花崗岩風化土	暗黄灰			風化作用の進行により砂質土状（マサ土）を呈する。部分的にφ２～15mm大の風化残痕礫（石英）を混入する。	
15	-14.49	1.20	15.00							
16										
17										
18										
19										

標準貫入試験

深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	2	2	1	5/30	5
1.45 2.15	4	4	4	12/30	12
2.45 3.15	1/20	3		4/30	4
3.45 4.15	4	4	4	12/30	12
4.45 5.15	1	1	1	3/30	3
5.45 6.15	3	2	1	6/30	6
6.45 7.15	1/20	1/15		2/35	2
7.50 8.15	2	1	2	5/30	5
8.45 9.15	1	1	2	4/30	4
9.45 10.15	7	6	7	20/30	20
10.45 11.15	15	22	13/5	50/25	60
11.40 12.15	14	18	18/8	50/28	54
12.43 13.05	20	26	4/1	50/21	71
13.26 14.15	14	20	16/5	50/25	60
14.40 15.05	50			50/10	150
15.15					



原位置試験 深度(m)	試験名および結果

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
				8/25
				8/26